

市議会レポートvol.5

健康なまちを実現。 未来へ責任。

守山市スポーツ協会 会長・文教福祉常任委員会
環境都市経済常任委員会・子育て対策特別委員会

自由民主党

森 たかやす



コロナから見える今後

守山市議会議員／自由民主党滋賀県連元青年局長／(一社)滋賀県自転車競技連盟 会長
守山市卓球協会 会長／NPO法人きれいなおうみを作ろうの会 会長／自民党河西支部顧問

森 たかやす

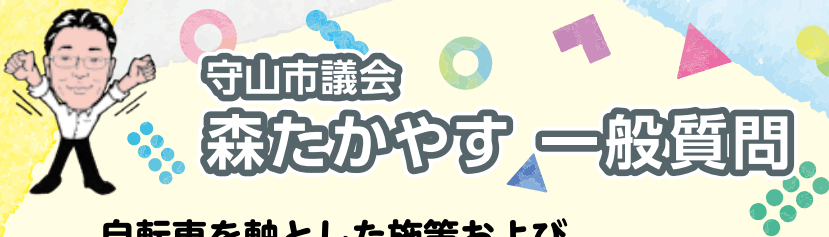
新緑の季節となりました。統一地方選挙の前半戦・後半戦が告示され、全国的に次世代や女性など、多様な候補者が増え、厳しくも活気ある選挙戦となりました。私自身は今一度自民党の議員としてこの地域、この時代を担うのに一番良い選択をして議員活動や守山市スポーツ協会を支援をしております。

国政では、リスクリリング・労働移動・構造的な賃上げに関する政策議論が佳境です。誰もがいつでも必要なスキルを獲得できる機会があり、今の勤め先や別の企業、もしくは起業やフリーランスなど、自らの意思でキャリアを選択し、個人の意欲と能力が最大限発揮できる社会を実現になればと地方から応援し発信しております。

また、党の社会保障制度調査会 デジタル社会推進本部健康・医療情報システム推進合同 PT では、政府の「医療 DX 令和ビジョン 2030」に向けた提言がまとまり、電子カルテをはじめとする医療データの利活用を中心に、医療そのものを大きく構造改革し、人口減少化社会に対応した環境のペースを整えられています。

さて、昨年4月で市議会議員となって20年が経ち、年齢を意識することはほとんどなかったのですが、地方議員のキャリアとしても節目であり、元気存分、仕事ができているのも、皆様の日頃のご支援のおかげと感謝しています。

ここまで注力してきたスポーツの取り組みについては、次の「ほたるのまちハーフマラソンに代わる」新しい守山市のイベントが確立し、一定の目処が立ち、健康とスポーツ、環境になお一層の力を入れ邁進してまいります。



自転車を中心とした施策および 住宅リフォーム制度の取り組みについて

自転車を軸とした施策について

Q 「自転車を軸とした観光振興」を目指し、約10年で実施してきた自転車施策の検証と民間企業への広がり、今後も展望について市長に伺う。

A 全国的にも自転車の町として認知され、民間の投資も顕著化しており、今後は観光振興に加え、琵琶湖湖岸の魅力ある持続可能な観光納客と地域活性化につながるよう各所との連携を強化してまいります。

今後の住宅リフォーム制度の取り組みについて

Q 今後の資材物価高、人件費高を考えると現制度の取り組みを活かそうとすれば助成額が工事内容などの検討が必要となるが、住宅・店舗・施設改修助成制度の検証と評価、令和5年度の住宅リフォーム等の制度の導入について市長に伺う。

A 約3年間継続して市独自支援を行ってきたことで、市内経済の活性化に一定の効果がありましたが、現制度は一定の役割を終え、今後は、脱炭素化の促進やGXに配慮した市内事業者の固定費削減への取り組み支援について検討してまいります。

Q 申請の手続きは相談から完了まで時間を要する。福祉の視点から考えると申請要件や助成対象工事など把握している工事業者の方が申請する代理受領制度の導入について、見解を伺う。

A 申請者、事業者の両方から負担軽減が図れるよう提出書類の簡略化等を検討してきました。今後は、誰にも優しい視点を考慮し、デジタル化、専門機関への委託化、代理受領制度については、総合的に調査研究してまいります。

新庁舎『つなぐ、守の舎』整備事業

新庁舎『つなぐ、守の舎』

8月14日(月)に暫定供用を開始します

問 庁舎整備推進室 ☎(584)5926 FAX(582)0539
企画政策課 広報係 ☎(582)1164 FAX(583)5066

8月14日(月)から、新庁舎に入居するすべての課が新庁舎で業務を開始します。新庁舎への移転は7月末から段階的に行います。詳しくは、広報もりやま7月1日号でお知らせします。

令和6年度末(予定)の駐車場整備完了までの間は駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関の利用や自転車、徒歩など、できる限りマイカーでの来庁は避けていただきますようご協力をお願いします。

市民の皆さまのご理解ご協力を
よろしくお願いいたします。



広報もりやま8月15日号は
8月13日(日)に発行します

広報もりやま8月15日号は新庁舎暫定供用開始特別号として、新庁舎概要や各課窓口案内などを掲載し、8月13日(日)に発行します。



練習方法に
コツあり

自転車の 補助輪なしデビュー

子どもに どう教える?



初めて自転車に挑戦したRちゃんとママのCさん

STEP
1

ペダルを外して歩く

- まずは自転車のペダルを外す。次に、またがったときに子どもの両足(先だけでも可)が地面につく高さまでサドルを下げる
- 子どもにサドルにまたがって歩く練習をさせる。慣れてきたら、徐々に力強く地面を蹴ってスピードをつけさせる
- 止まる時は足ではなく、ブレーキを使うように教える



こっち見ろー、
前を向いて
歩いてきて!

自転車にまたがり、ママのCさんを見て歩くRちゃん

親が子どもに補助輪なしの自転車の乗り方を教えるとき、どうやって練習したら上達しやすいのか、プロにコツを聞きました。自転車を購入する際のポイントや、公道を走る際の安全対策も紹介します。

撮影場所/ 県営都市公園「びわこ地球市民の森」



固いときは
着滑刺を使っ

ペダルは、専用のペダルレンチで外します

Point!

子どもの目線が手や足元に下がるとハンドルがふらつきます。親は進行方向の前方から子どもに声を掛けてあげて



教えてくれたのは

滋賀県自転車競技連盟の
岸田泰成さん(左)
森貴尉さん(中)
濱井たけしさん(右)

ポイントにはバランス感覚
後ろで支えるより前で見守って

「自転車の補助輪は2人。Rちゃんは外して乗る練習のポイントは、バランス感覚を身につけること。教える側は後ろから支えたくなりますが、子どもが前を向くよう、前で見守ると成長してくれまが「コツです」と滋賀県自転車競技連盟の濱井さん。今回、挑戦したの

は2人。Rちゃんは1人で自転車に乗るのは初めて。Yちゃんには「補助輪を外したい」と言い始めたところ。2人とも1時間足らずの練習でぐんと成長してくれました。それでは、教えるコツをステップ1〜4で詳しくみていきたいと思います。

自転車に乗る際の服装&準備

- 長袖・長ズボン ●ヘルメット ●軍手または手袋
- 運動靴 ●ペダルレンチ ●水分補給の飲料水